

健康ぷらざ

No.378

企画:日本医師会

食道がんは早期発見が重要

食道がん患者は40代後半以降、急激に増えます。

性差があり、男性は女性の5倍以上にもなります。

主な要因は飲酒と喫煙です。

飲酒するとすぐに赤くなる人(フラッシュヤー)は、

食道がんになりやすい傾向にあります。

また飲酒と喫煙が重なるとさらに危険度が高まります。

欧米では、胃酸が食道に逆流してしまっ

「逆流性食道炎」を治療せずにいることで、

食道の内側の組織が胃酸にさらされて変化し、

それが要因となって食道がんに進行すると考えられています。

食生活の欧米化にともない、

今後、日本でもこのタイプが増えるかもしれません。

初期の食道がんは、自覚症状がほとんどありません。

食べ物がつかえるなどの症状が出てきた頃には、

すでに進行している場合がほとんどで、

他臓器に転移しやすく治療は大変困難です。

早期に発見できれば、手術ではなく内視鏡で治療することもできます。

積極的に検査を受けましょう。

飲酒すると赤くなる人



食道がんになりやすい



飲酒

傾向

と

要因

40代後半以降の男性



喫煙

